



Title	次世代OPACの可能性：大学図書館界の現況の紹介、ベンダー様との協同、及び情報交換の枠組み
Author(s)	久保山, 健
Citation	
Version Type	AM
URL	https://hdl.handle.net/11094/14105
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

次世代OPACの可能性

—大学図書館界の現況の紹介、ベンダー様
との協同、及び情報交換の枠組み

久保山 健 (KUBOYAMA Takeshi)

大阪大学 情報推進部 情報基盤課 (図書館システム担当)

<February 19, 2009>

NEC 平成20年度 図書館研究会

会場: NEC 関西ビルOBPホール

本日の骨子

1. 自己紹介
2. 関心を持ったきっかけ
3. 海外事例
4. 国内事例、検討状況
5. 各ベンダーへの開発/導入支援、協同への期待
6. 次世代OPAC情報交換用メーリングリスト
“nxopac”

1. 自己紹介

- ◆ 久保山 健 (くぼやま たけし)
- ◆ 大阪府 寝屋川市 在住
- ◆ 現在の所属: 大阪大学 情報推進部
情報基盤課 図書館システム担当 (3年半+)
- ◆ 経歴: 図書受入、雑誌全般、図書の契約、和漢書の目録
- ◆ 大阪大学附属図書館が使用している業務システム: NEC LICSU-Web
(*) 契約期間: 2007.3. ~ 2012.3.
- ◆ ピッツバーグ大学(Pitt)図書館で研修
: 2007.12. ~ 2008.2. 次世代OPACとの出会い!?

2. 関心を持ったきっかけ (1)

◆ピッツバーグ大学図書館へ出張

○期間：2007.12月上旬～2008.3月上旬

○Pittでは、“たまたま”OPACの改良について検討中

○担当者へのインタビュー／複数の商用ソフトのデモを聴講

○米加の3大学図書館に調査出張

2. 関心を持ったきっかけ (2)

◆ピッツバーグ大学図書館へ出張

○九州大学 片岡氏から、次世代OPACの検討状況について、問い合わせメール (2008.2.19.)

○久保山： 導入事例のリンク集について構想中 (同じ頃)

→帰国後の情報交換

○「次世代 OPAC 導入事例リンク集」公開 (2008.3.12.)

2. 関心を持ったきっかけ (3)

◆次世代OPACに対する最初の印象

- ・個人的には従来型に慣れていた



「違和感」

「どういうロジックで、この検索結果が返ってくるの??？」

「なんか使いにくいなあ」

2. 関心を持ったきっかけ (4)

◆ 次世代OPACに対する最初の印象

そして……

「最近の学生は”検索”自体に慣れているだろう」

「検索スキルを利用者に求めるより、逆に初めてでも、概ね使えるような仕組みやインターフェースも必要」

「自分もGoogleを使う時、上の方に表示されているものを選んで満足しているでしょ！」

「よく見ると、使いやすそうやん」

「せめて!? 一般のWebサイト並みにしたい」 ………など

＜＜こう考えることで、“垣根”は越えました。＞＞

※使うための一定のスキルは必要

※適切な結果が表示されているか、たどり着けたかの検証も必要

※ユーザの意見も聞いてみたい

3. 海外事例 (1)

◆ AquaBrowser

- 商用ソフト
- University of Chicago
- Queens Library, Jamaica, NY など

(画像省略)

Queens Library の OPAC

検索結果一覧画面

<http://aqua.queenslibrary.org/?q=japanese%20canadian>

3. 海外事例 (2)

◆ VuFind

- ・オープンソース
- ・National Library of Australia など

(画像省略)

National Library of Australia の OPAC

検索結果一覧画面

<http://catalogue.nla.gov.au/Search/Home?lookfor=japanese+canadian+history&type=all&limits=>

3. 海外事例 (3)

◆BiblioCommons

- 商用ソフト
- Oakville Public Library, Ontario, Canada
など

(画像省略)

Oakville Public Library のサイト
トップページに ” Recently Reviewed
Items”

<http://www.opl.on.ca/>

(画像省略)

Oakville Public Library のOPAC

ユーザからのコメントのある詳細画面

http://opl.bibliocommons.com/item/show/594431001_i_am_a_taxi

4. 国内事例、検討状況 (1)

◆日本事務器(株)の "NeoCILIUS" (レビュー機能等)

- パッケージシステム
- 東京経済大学図書館 など

(注)以下、久保山の知る範囲という注釈が全て付きます。

(画像省略)

東京経済大学図書館様のOPAC

OPACの最初の画面

<https://opac.tku.ac.jp/top/>

(画像省略)

東京経済大学図書館様のOPAC
検索結果一覧画面

<https://opac.tku.ac.jp/top/>

4. 国内事例、検討状況 (2)

◆既存パッケージシステム(NEC)を使った工夫

・尚絅学園図書館

◆VuFind（オープンソース）の実験的適用

(画像省略)

尚絅学園図書館様のOPAC

OPACの詳細画面の書誌情報の”一般注記”に「学生の声：・・・」とあります。

4. 国内事例、検討状況 (3)

◆大手ベンダーの動向

- 富士通

Web2.0的な改良。2009年度以降に予定

- NEC

各大学図書館へのヒヤリングの結果は？

- その他のベンダー

いろいろ動きはある模様（直接はお聞きしていません）

4. 国内事例、検討状況 (4)

◆大手ベンダーの動向

- いくつかの主要大学で、システム更新が1ー2年後に迫っている。そろそろ何か開発しないといけないタイミング??
- オープンソースを採用することも検討中??

4. 国内事例、検討状況 (5)

◆海外商用ソフト／代理店

- ・個別のデモやセミナーでの紹介を行っている
- ・日中韓の言語(CJK)や、NACISIS-CAT(WebCAT)のレコードフォーマットへの対応など、確実に必要な作業あり
- ・対応は、早くて2009～2010年???

4. 国内事例、検討状況 (6)

◆大学図書館

- ・一部で、情報交換や、気運を盛り上げる動き (2008年度前半)
- ・個別の学習会で取り上げられつつある様子 (2008年度後半)

<<情報交換、情報共有の必要性>>

知見、製品、アイデア、事例、ノウハウ...

5. 各ベンダーへの開発/導入支援、 協同への期待 (1)

◆国立大学図書館のシステム更新の流れ

- 約5年毎に更新。仕様書に基づく入札
- パッケージシステムを導入
- パッケージシステムで実現できない機能は、「カスタマイズ」
当然、その分、コストに跳ね返る

5. 各ベンダーへの開発/導入支援、 協同への期待 (2)

- ◆図書館の業務とサービスは、、、
パッケージシステム及びベンダー
の導入支援がないと成り立たない
- ◆あとからカスタマイズするより、
より良いパッケージシステム

5. 各ベンダーへの開発/導入支援、 協同への期待 (3)

◆ しかも、次世代OPACは新しいトピックで、パッケージシステム改良の効果が出しやすそう!!

◆ 大学図書館側の意見も集約できれば、開発(市場調査)経費の圧縮も?

5. 各ベンダーへの開発/導入支援、 協同への期待 (4)

◆一方で、ベンダー側のご意見(一部)

- ・ 大学図書館側の考えが見えない
- ・ 個別館で考えが異なる

→開発・実装へのハードル？

→やはり、まずは情報交換・意見交換か

6. 次世代OPAC情報交換用メーリングリスト (1)

◆ピッツバーグ大学図書館への出張後

2008.6月

- 次世代OPAC検討会(NECのユーザ館＋NEC)

2008.8月下旬

- 幅広く情報交換する必要性の声

→ 「次世代OPAC情報交換用メーリングリスト」

- 使用しているシステムや、大学図書館／ベンダー／代理店を問わず

(*)「検討会」は「次世代OPAC・NECユーザ会」に移行

6. 次世代OPAC情報交換用メーリングリスト (2)

◆現況 (2009.2.16.現在)

○ 62のアドレス(グループアドレスを含む)

- 内ベンダー/代理店関係者

=14アドレス (8社)

- 大学/図書館等=47アドレス(約20機関)

- 学術情報流通関係者=1アドレス

6. 次世代OPAC情報交換用メーリングリスト (3)

◆現況 (2009.2.16.現在)

- メールの数量 : 93
- 主な内容 : セミナーや製品情報
- ご紹介のサイト

http://dwsv.library.osaka-u.ac.jp/pitt_report/nxopac.html

6. 次世代OPAC情報交換用メーリングリスト (4)

◆悩み

- 具体的な議論や方向性に発展しない(ある意味当然だが)
- ベンダー/代理店は発言しにくい(とお聞きしました)
- メーリングリスト自体は目的ではないが、メーリングリストから何が生まれるのかという不安(期待)
- 内容が蓄積しにくい。ブログ併用??

6. 次世代OPAC情報交換用メーリングリスト (5)

◆今後への期待

- 情報交換・情報共有の枠組み自体は継続する価値がある(と思う)
- 具体的な議論、事例報告
- リアルなセミナーでの議論(複数のベンダーが混じると面白そう)